

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月31日
上場取引所 東

上場会社名 インヴァスト株式会社
コード番号 7338 URL <https://www.inv.inc/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川路 猛
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 大村 祐一郎 (TEL) 03-6858-7105
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月1日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,258	15.3	2,878	12.1	179	107.1	190	208.5	113	745.5
2023年3月期第2四半期	2,825	28.6	2,566	19.0	86	△56.9	61	△88.6	13	△96.2

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 213百万円(△45.5%) 2023年3月期第2四半期 392百万円(△15.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第2四半期	円 銭 19.29	円 銭 —
2023年3月期第2四半期	2.28	2.27

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	117,497	11,836	10.1
2023年3月期	122,278	11,734	9.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 11,827百万円 2023年3月期 11,725百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
2024年3月期	—	19.00			
2024年3月期(予想)			—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

当社グループの主力サービスである外国為替証拠金取引は、外国為替市場や株式市場等の市況、その他国内外の経済環境等に大きく左右される傾向にあり、業績予想が困難であるため、連結業績予想の開示は行っておりません。その代替として、営業収益等の営業指標を月次概況として開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期2Q	5,876,331株	2023年3月期	5,876,331株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	34株	2023年3月期	34株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期2Q	5,876,297株	2023年3月期2Q	5,876,297株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は利益の配分について、安定的な配当の継続を前提としつつ、業績に応じた適切な利益還元を行うことを基本方針とし、中間配当、期末配当の年2回の剰余金の配当を行ってまいります。
 配当は、連結配当性向30%または連結純資産配当率 (DOE) 2% (年率) のいずれか高い方を目安とし、実施いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(表示方法の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、記録的な猛暑によって、季節性商品の需要が高まったほか、人出の増加によりレジャー関連を中心に個人消費が活発化しました。また企業活動においては半導体不足の緩和に伴い自動車生産が回復したことなどが景況感を押し上げました。一方、世界的なインフレ継続による生活必需品の価格上昇やエネルギー価格の高騰は依然続いており先行き不透明な状況が続きました。

外国為替市場では、7月に144円台で始まったドル円相場は、同月に日銀がイールドカーブ・コントロールの運用を柔軟化する措置を決定したことから一時、137円台まで円高・ドル安となる場面が見られましたが、8月下旬に開催されたジャクソンホール会議で米連邦準備制度理事会（FRB）パウエル議長が金融引き締めを継続する可能性を示唆したことで、ドル買いが優勢となり、147円台前半まで上昇しました。さらに9月の日銀金融政策決定会合で現行の金融緩和スタンスの維持が示されると、日米の金利差拡大から円売り・ドル買いの流れは一層鮮明となり、当第2四半期連結累計期間末は149円台で取引を終える結果となりました。

株式市場では、円安継続の安心感から好決算を発表した企業を中心に買いを集めました。9月に入ると、米国の消費者物価指数（CPI）や小売売上高などの経済指標が市場予想を上回る結果となったことから、日米ともに株式市場は上昇しました。しかし同月後半にかけては米国の金融引き締めの長期化による経済悪化への懸念が高まり、日本株はやや軟調な展開となりました。

このような経済環境のもとで、当社グループにおける各セグメントの業績概況は以下のとおりであります。

インヴァスト証券株式会社を中心とする国内金融事業は、注力サービスである「トライオート」において、自動売買セレクトのシミュレーション機能のバージョンアップや、顧客取引画面「Myページ」のデザイン全面刷新を行うと同時に、任せるトレードAI「マイメイト」においては、エージェントの特徴量に「指数の価格データ」を追加する等、顧客の取引活性化及び利便性の向上に取り組みました。

しかしながら、為替のボラティリティの減少を背景に、取引高が減少傾向となったこと等から、国内金融事業の純営業収益は13億29百万円（前年同期比89.6%）となり、セグメント損失は17百万円（前年同期はセグメント損失21百万円）となりました。

なお、国内金融事業の顧客口座数は521,688口座（前年同期比105.2%）となり、受入保証金残高は、766億35百万円（同89.3%）となりました。

海外金融事業である豪州子会社は、4月にロンドンに現地法人を設立し、6月にはキプロス子会社の増資を実施する等、競争力のある複数の拠点都市における地理的拡大、事業規模の拡張を進めました。

なお、同社は、成長の原動力である法人向けのホールセールビジネスに特化するため、新ブランド「26 Degrees」を発表し、今年8月には「Invast Financial Services Pty Ltd.」から「26 Degrees Global Markets Pty Ltd.」に商号を変更しました。

こうして、海外金融事業の純営業収益は16億53百万円（前年同期比139.7%）となり、セグメント利益は2億88百万円（同153.8%）となりました。

これらの結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の営業収益は、32億58百万円（前年同期比115.3%）、純営業収益は28億78百万円（同112.1%）となりました。

販売費・一般管理費は全体で26億98百万円（同108.8%）となり、純営業収益から販売費・一般管理費を差し引いた営業利益は1億79百万円（同207.1%）、経常利益は1億90百万円（同308.5%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億13百万円（同845.5%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して47億80百万円減少し1,174億97百万円となりました。流動資産は、48億75百万円減少し1,155億40百万円となりました。

流動資産の主な増加項目は、短期差入保証金の増加4億68百万円であり、一方、主な減少項目は、預託金の減少20億72百万円、外為取引未収入金の減少27億22百万円であります。

また、固定資産は、前連結会計年度末と比較して94百万円増加し19億57百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は1,056億61百万円となり、前連結会計年度末と比較して48億82百万円減少しました。流動負債は、49億12百万円減少し1,053億74百万円となりました。

流動負債の主な増加項目は、未払法人税等の増加18百万円であり、主な減少項目は、受入保証金の減少31億65百万円、外為取引未払金の減少8億50百万円、短期借入金の減少10億円であります。

また、固定負債は、前連結会計年度末に比べ30百万円増加し2億76百万円となりました。

特別法上の準備金は、10百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は118億36百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億2百万円増加しました。主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益1億13百万円の計上であり、主な減少要因はその他有価証券評価差額金の減少7百万円、配当金の支払いによる1億11百万円であります。

この結果、自己資本比率は10.1%（前連結会計年度末は9.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの主力サービスである外国為替証拠金取引は、外国為替市場や株式市場等の市況、その他国内外の経済環境等に大きく左右される傾向にあり業績予想が困難であるため、業績予想の開示は行っておりません。

その代替として、営業収益等の営業指標を月次概況として開示しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	9,352	8,918
預託金	32,750	30,677
顧客分別金信託	9,400	8,000
顧客区分管理信託	23,257	22,584
その他の預託金	92	92
短期差入保証金	53,110	53,578
外為取引未収入金	24,663	21,941
その他	538	424
貸倒引当金	△0	△0
流動資産計	120,415	115,540
固定資産		
有形固定資産	207	164
無形固定資産	539	577
投資その他の資産	1,116	1,215
投資有価証券	98	98
出資金	845	852
繰延税金資産	65	164
その他	107	101
貸倒引当金	△0	△0
固定資産計	1,863	1,957
資産合計	122,278	117,497
負債の部		
流動負債		
受入保証金	94,751	91,585
短期借入金	3,500	2,500
外為取引未払金	11,264	10,414
未払法人税等	164	182
賞与引当金	36	32
役員賞与引当金	24	11
その他	546	647
流動負債計	110,287	105,374
固定負債		
繰延税金負債	222	247
その他	23	28
固定負債計	246	276
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	10	10
特別法上の準備金計	10	10
負債合計	110,543	105,661

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500	500
資本剰余金	7,646	7,646
利益剰余金	2,959	2,961
自己株式	△0	△0
株主資本合計	11,106	11,108
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	568	561
為替換算調整勘定	50	158
その他の包括利益累計額合計	619	719
新株予約権	8	8
純資産合計	11,734	11,836
負債・純資産合計	122,278	117,497

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業収益		
受入手数料	557	384
トレーディング損益	1,809	1,621
金融収益	226	1,024
組合投資利益	-	17
その他の営業収益	231	210
営業収益計	2,825	3,258
金融費用	152	380
組合投資損失	106	-
純営業収益	2,566	2,878
販売費・一般管理費		
取引関係費	648	573
人件費	943	1,144
不動産関係費	612	692
事務費	62	35
減価償却費	111	123
租税公課	53	81
その他	48	49
販売費・一般管理費計	2,479	2,698
営業利益	86	179
営業外収益		
為替差益	-	14
その他	0	0
営業外収益計	0	15
営業外費用		
為替差損	21	-
支払利息	2	1
その他	2	3
営業外費用計	25	4
経常利益	61	190
特別利益		
金融商品取引責任準備金戻入	0	0
新株予約権戻入益	-	0
特別利益計	0	0
税金等調整前四半期純利益	62	190
法人税、住民税及び事業税	55	140
法人税等調整額	△7	△62
法人税等合計	48	77
四半期純利益	13	113
親会社株主に帰属する四半期純利益	13	113

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	13	113
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	230	△7
為替換算調整勘定	147	107
その他の包括利益合計	378	100
四半期包括利益	392	213
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	392	213

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

前連結会計年度において、「営業外収益」または「営業外費用」に計上しておりました「組合投資利益」及び「組合投資損失」を「営業収益」としての「組合投資利益」または「営業収益」より差し引く費用としての「組合投資損失」として計上する方法に変更しました。

これは、当社と連結子会社との会社分割により当社が承継した事業より発生する損益について、当社の事業活動内容に照らしより適切な表示とするために行ったものであります。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間において、「営業外費用」の「組合投資損失」として表示していた106百万円は、「営業収益」より差し引く費用としての「組合投資損失」として組替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

表示方法の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、従来「営業外収益」または「営業外費用」に計上しておりました「組合投資利益」及び「組合投資損失」を「営業収益」または「営業収益」より差し引く費用としての「組合投資損失」として計上する方法に変更しております。

この結果、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、表示方法の変更を反映した遡及処理を行っており、従来の方法に比べて、国内金融事業の純営業収益及びセグメント利益が106百万円それぞれ減少しております。

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内金融事業	海外金融事業	合計		
純営業収益					
外部顧客への純営業収益	1,470	1,095	2,566	-	2,566
顧客との契約から生じる 収益	467	321	789	-	789
受入手数料	332	225	557	-	557
その他の営業収益(外 部顧客)	135	96	231	-	231
トレーディング損益等の 金融商品収益(注) 1	1,221	815	2,036	-	2,036
その他(注) 1	△ 217	△ 41	△ 259	-	△ 259
セグメント間の内部純営業 収益又は振替高	12	87	100	△ 100	-
計	1,483	1,183	2,666	△ 100	2,566
セグメント利益又は損失 (△)	△21	187	165	△ 79	86

(注) 1. トレーディング損益等の金融商品収益の内訳は四半期連結損益計算書のトレーディング損益及び金融収益であります。その他の内訳は金融費用、組合投資利益及び組合投資損失であります。

2. 「調整額」は次のとおりであります。

(1) 純営業収益の調整額△100百万円はセグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額△79百万円はセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内金融事業	海外金融事業	合計		
純営業収益					
外部顧客への純営業収益	1,232	1,645	2,878	-	2,878
顧客との契約から生じる 収益	275	319	594	-	594
受入手数料	215	169	384	-	384
その他の営業収益(外 部顧客)	60	149	210	-	210
トレーディング損益等の 金融商品収益(注) 1	1,272	1,373	2,645	-	2,645
その他(注) 1	△ 315	△ 47	△ 362	-	△ 362
セグメント間の内部純営業 収益又は振替高	97	7	104	△ 104	-
計	1,329	1,653	2,982	△ 104	2,878
セグメント利益又は損失 (△)	△ 17	288	270	△ 91	179

(注) 1. トレーディング損益等の金融商品収益の内訳は四半期連結損益計算書のトレーディング損益及び金融収益であります。その他の内訳は金融費用、組合投資利益及び組合投資損失であります。

2. 「調整額」は次のとおりであります。

(1) 純営業収益の調整額△104百万円はセグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額△91百万円はセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。